

みんなの医療



事業所

長野中央病院
南長池診療所
稲里生協クリニック
老人保健施設ふるさと
徳間デイサービスたんぼぼ
三本柳デイサービスミント
戸倉デイサービスゆいっこ
グループホーム栗田ゆうゆう

グループホーム南長池れんげそう
長野中央介護センターつるが
在宅総合ステーションながの
(ケアマネジャー・訪問介護)
訪問看護ステーションながの
つるがりハビリセンター
ショートステイつるが
高齢者住宅つるがの風

発行 長野医療生活協同組合

〒380-0814 長野市西鶴賀町1570 TEL(026)234-1476 FAX(026)234-1493

E-mail:chiiki@healthcoop-nagano.or.jp

ホームページ:http://www.healthcoop-nagano.or.jp

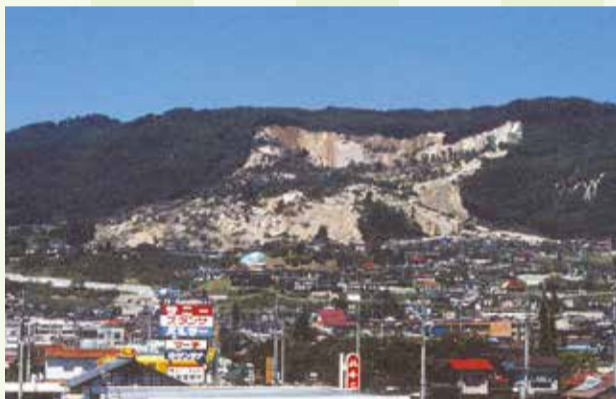
●現勢(2018年8月18日現在)生協組合員…6万4439人 出資金…16億324万円

「わが家は大丈夫」は危険です! 災害への備えをはじめましょう

7月、西日本で大きな豪雨災害が発生しました。犠牲になられた方、被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。私たちの身近な所でも過去に幾度か災害が発生しています。改めて足下を見つめ直してみませんか。



自治体で発行されているハザードマップ



地附山地すべり (1985年7月26日、地すべり発生)

西日本での豪雨災害は、死者・行方不明者は2000人を超え、住宅被害は数万棟を超える大災害となりました。11府県で最大級の警戒を要する「大雨特別警報」が発表されましたが、制度が運用されて以来最多となるものでした。

災害は、崖崩れやそれに伴う土石流、堤防の決壊や越流による浸水災害などでした。加えて、溜池や砂防ダムの決壊、ダムの放流による災害も報じられました。

地区の大多数が浸水した倉敷市真備地区は、これまでも危険性が指摘された地域でした。しかし、河川改修が必要とされたにもかかわらず、工事が行われていませんでした。この地区のハザードマップをみると、被害想定が今回の被害と重なります。被害が予測されていたにもかかわらず

西日本で甚大な被害

2006年7月に岡谷市を襲った豪雨では、土石流などで8人が亡くなりました。中小河川の氾濫による住宅被害はこれ以外にも多数発生しています。

ハザードマップを見直しましょう

ところで皆さんは、自分の住

私たちの身近な地域でも、これまで降雨をきっかけに大きな災害が発生しています。

1985年7月には梅雨前線の降雨により地附山で大規模な地すべりが発生しました。老人ホーム松寿荘で26人が亡くなり、湯谷団地で住宅全半壊64戸という大災害となりました。

95年7月には長野県北部で梅雨前線豪雨が降り、小谷村を中心に大きな災害が発生しました。近隣でも信濃町、豊野町、戸隠村(当時)などで崖崩れや川の氾濫、土石流により大きな被害を被りました。

長野県でも過去に大災害が

わらず大きな被害を生んでしまったことが悔やまれます。



三登山土石流(1995年7月11~12日発生、長野市若槻地区の三登山山麓の土石流)



岡谷土石流災害(2006年7月19日発生、上の原小学校は裏山からの土石流が学校に流れ込み被災)

む地域がどのような災害を被る危険性があるか知っていますか。それを示すハザードマップが自治体で作成されています。

長野市では洪水ハザードマップ、土石流災害ハザードマップ、さらには地震の揺れやすさや液状化の危険性などを示す地震防災マップも作成されています。これらのハザードマップは各家庭に配布されたり地域の公共の場所に掲示されたりしています。手元にない場合は、ホームページから閲覧することもできます。長野市以外にもほぼ同様です。もう一度ハザードマップを見て、確認してみましょう。

ただし、このマップだけが手がかりではありません。昔からの言い伝えや、過去の災害の伝承なども大切です。さまざまな情報を活かして災害に備え、被害を最小限に抑えるよう平常時から備えましょう。

(長野医療生活協理 花岡 邦明)

待合室

今年2月の末に子どもが生まれました。毎日仕事と子育てで疲れませんが、子どもが見せる笑みをみていると、「このために頑張ってきたんだ」と日々の苦労が報われる思いをしています▼

こうして子育てをしていると、医療生協の職員として『戦争と平和』について学んだことを実感することがほんとは、子どもが誕生したことで、リレーのバトンのように先輩方の世代から私たちの世代へ渡されていることを自覚しました▼渡された平和のバトンは、次の世代へ渡していかなければなりません。まだまだ人間としても親としても未熟な私ですが、この先を担う子どもたちのために何が出来るのか。親として、そして人間として、これからも学び、子どもと一緒に成長していきたいと思えます。

(小)